

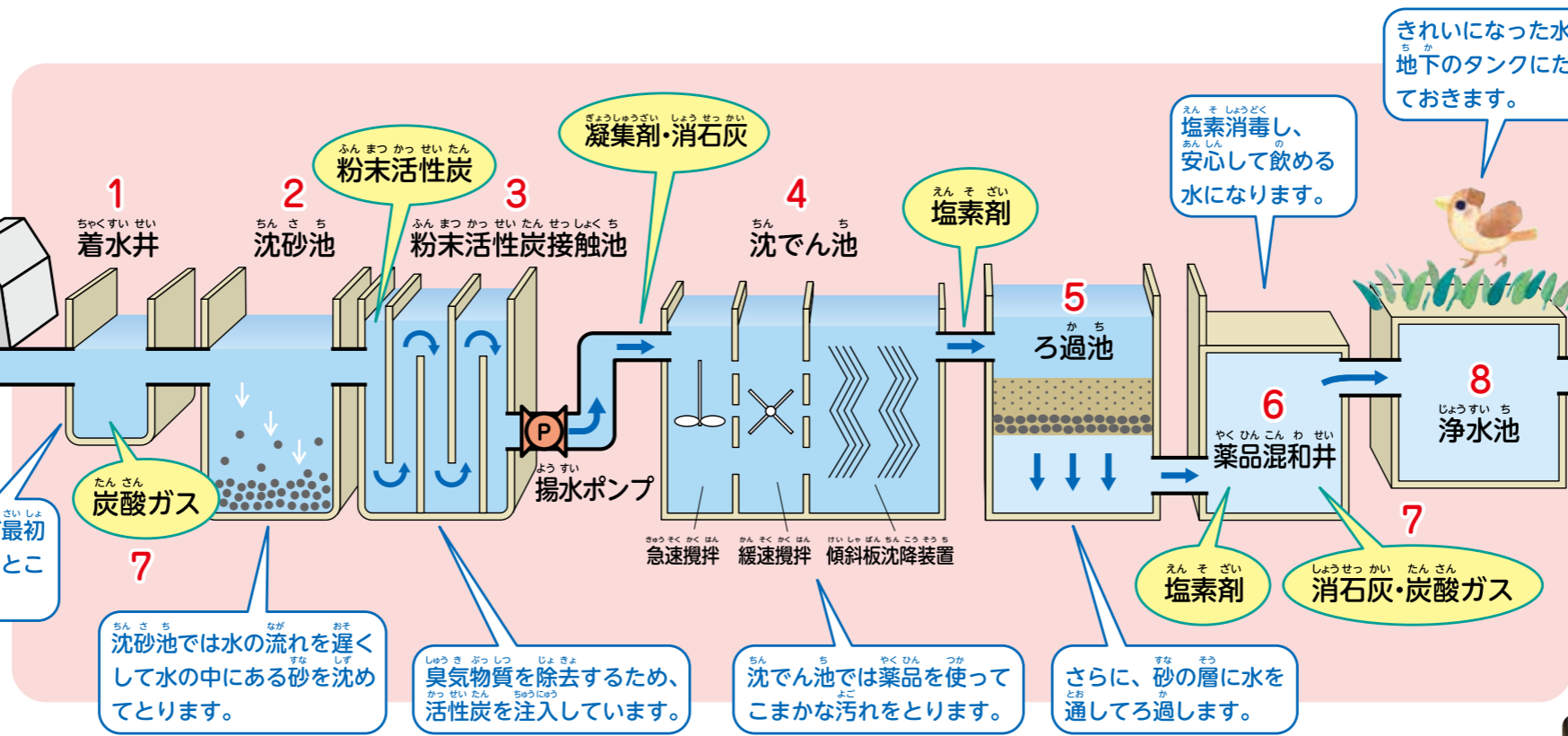
# 水をつくる

大台ヶ原山に降った雨が和歌山市の水道水のはじまりです。

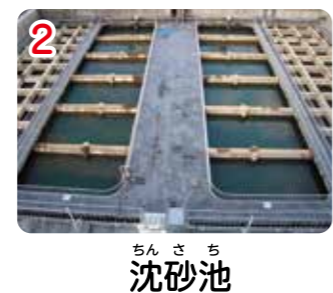


加納浄水場  
和歌山市で使う水道水の約77%をここで作っています。

浄水場でどのようにして水道水が作られるかみてみよう！



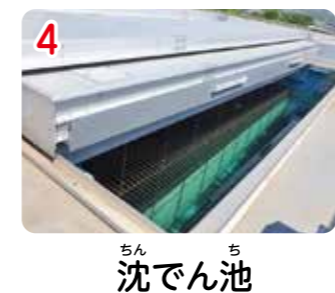
1 着水井



2 沈砂池



3 粉末活性炭接触池



4 沈でん池



5 ろ過池



7 消石灰・炭酸ガス注入設備



8 浄水池

蛇口から出る水道水はさまざまな工程を経て各家庭にとどけられます。

きれいになった水を地下のタンクにためておきます。

塩素消毒し、安心して飲める水になります。

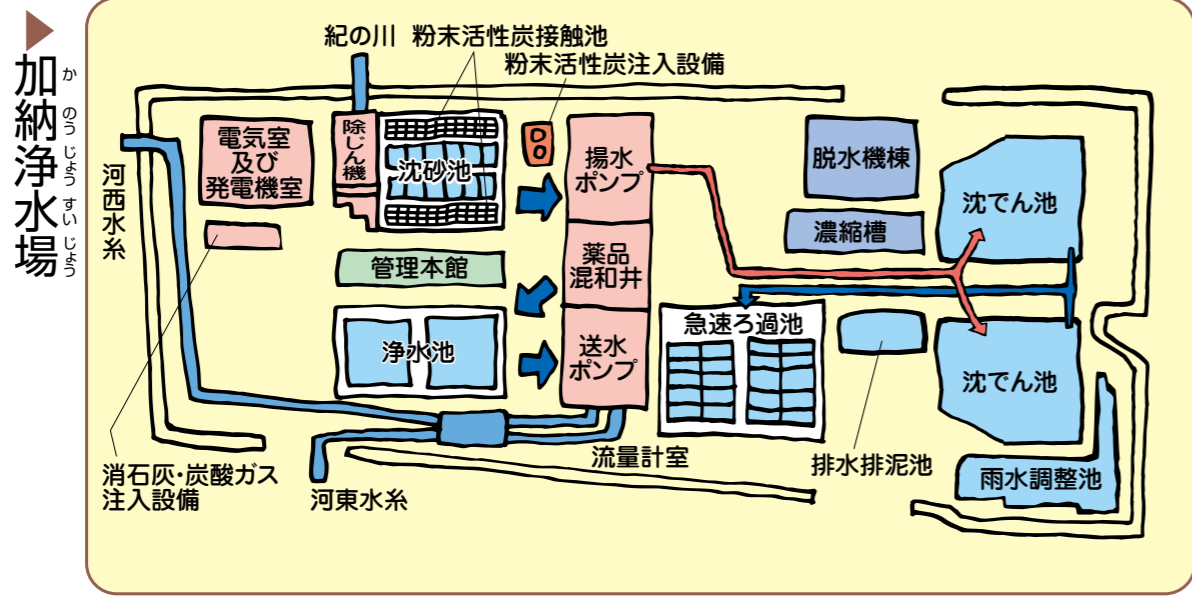
さらに、砂の層に水を通してろ過します。

沈でん池では薬品を使ってこまかな汚れをとります。

臭気物質を除去するため、活性炭を注入しています。

沈砂池では水の流れを遅くして水の中にある砂を沈めてとります。

紀の川の水が最初に入ってくるところです。



●先生方へ● 1・4で炭酸ガスや消石灰を注入する目的は、PH値を7.0程度に調節し、沈でん池での凝集効果を高めるため。6で消石灰と炭酸ガスを注入する目的は、PH値を7.5程度に調整し、水道管の腐食をおさえるため。



中央監視室  
浄水場の機械の動きを調節し、異常がないか24時間監視します。



水質試験室  
浄水場でつくられた水道水の安全をたしかめます。